

2022 年 10 月 19 日
北伊勢上野信用金庫

地域密着型金融推進計画（2022 年 4 月～2025 年 3 月）の策定について

北伊勢上野信用金庫（本店 四日市市 理事長 南部 和典）は、信用金庫の原点である地域が抱える課題の解決に向けて地域に寄り添った手作りの支援を提供し、地域の脱炭素化に向け、金庫独自の支援を提供することで、持続可能な地域社会の実現に貢献するため、推進期間を 2022 年 4 月から 2025 年 3 月までとする「地域密着型金融推進計画」を別紙のとおり策定いたしましたのでお知らせいたします。

以 上

（本件に関するお問合せ先）

担当	総合企画部（武内）	TEL 059-354-1583
----	-----------	------------------



地域密着型金融推進計画

(2022年4月～2025年3月)

当金庫は従来から、地元根差した金融機関としてお客様との密接な関係を活かし地域密着型金融を推進し様々な施策に取り組んでまいりました。

今年度も「地域の存在力となる信用金庫」としてお客様の経営支援、環境への対応、事業承継支援などに積極的に取組、地方創生・地域活性化に資することで、さらなる地域密着型金融の深化を目指してまいります。



北伊勢上野信用金庫



I. 基本方針

- (1) 信用金庫の原点である地域が抱える課題の解決に向けて地域に寄り添った手作りの支援を提供します。
- (2) 地域の脱炭素化に向け、金庫独自の支援を提供することで、持続可能な地域社会の実現に貢献します。

II. 具体的な取組事項

- (1) お客様へのコンサルティング機能の発揮
- (2) 地域への面的再生への積極的な参画
- (3) 地域やお客様への積極的な情報発信

III. 計画期間

3年間

IV. 計画の公表

ホームページにて地域密着型金融推進計画を公表します。

1. お客様に対するコンサルティング機能の発揮 [1]

◇収益力改善計画の策定支援を通じたお客様の経営課題の解決支援

新型コロナウイルスの影響により多くの中小企業の皆さまが売上の減少や借入の増大に直面しています。こうした中小企業の皆さまの今後の事業継続に向けた取組を、当金庫は公的機関である中小企業活性化協議会と連携し、収益力改善計画（収益力改善アクションプラン＋収支資金繰り計画）の策定支援を通じてご支援いたします。

○具体的な取組施策

- ・ 収益力改善計画の策定を通じてお取引先の経営課題の「見える化」をご支援いたします。
- ・ 「見える化」によって明確となった課題に対して、金融機関が持つネットワークを活用した具体的かつ効果的なアクションプランをご提案し、アクションプランの実行に至るまで伴走的な支援を行ってまいります。



目標数値（年間） 収益力改善計画策定 件数 5 件

1. お客様に対するコンサルティング機能の発揮 [2]

◇お客様のライフステージに応じた最適なソリューションの提案

当金庫はお客様との日常的・継続的な関係から得られる各種情報を通じて、お客様のライフステージに応じた様々な経営課題について、継続的な伴走支援を行うことで経営目標や課題を共有し、課題解決に最適なソリューションをご提供いたします。

【創業・第二創業支援】

- ・お客様と定期的な面談を通して、実現性のある創業計画書の策定を支援いたします。
- ・公的機関との連携による創業者への資金調達を支援いたします。

【販路拡大支援】

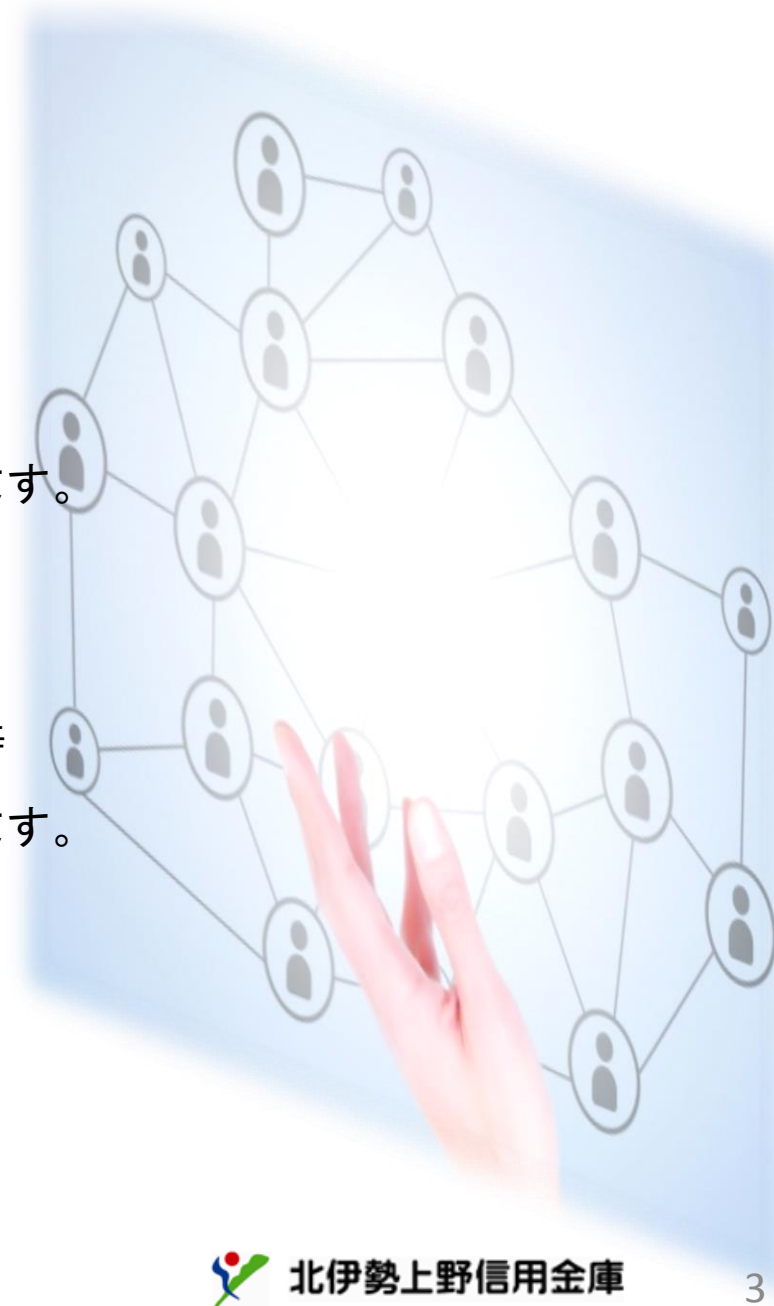
- ・金融機関のネットワークを活用したビジネスマッチングによる販路拡大を支援いたします。
- ・各種商談会の開催による販路拡大機会を提供いたします。

【事業再生支援】

- ・企業訪問を通じ経営実態の十分な把握や企業再生への積極的な取組を目的に、経営改善支援先に対して外部機関と協力しながら経営に関するアドバイス等の改善支援をいたします。

【事業承継支援】

- ・お取引先の事業承継に関する様々な課題に対し、円滑な事業承継を進めるための事業承継計画の策定を支援いたします。
- ・三重県内信用金庫共通の枠組みである「みえ3信金事業承継ネットワーク」による、外部支援機関と連携したM&Aマッチングの支援をいたします。



2. 地域への面的再生への積極的な参画

◇環境・脱炭素社会への貢献

近年、グローバルに展開している企業を中心に脱炭素経営に向けた企業の取組みが急速に広がっております。

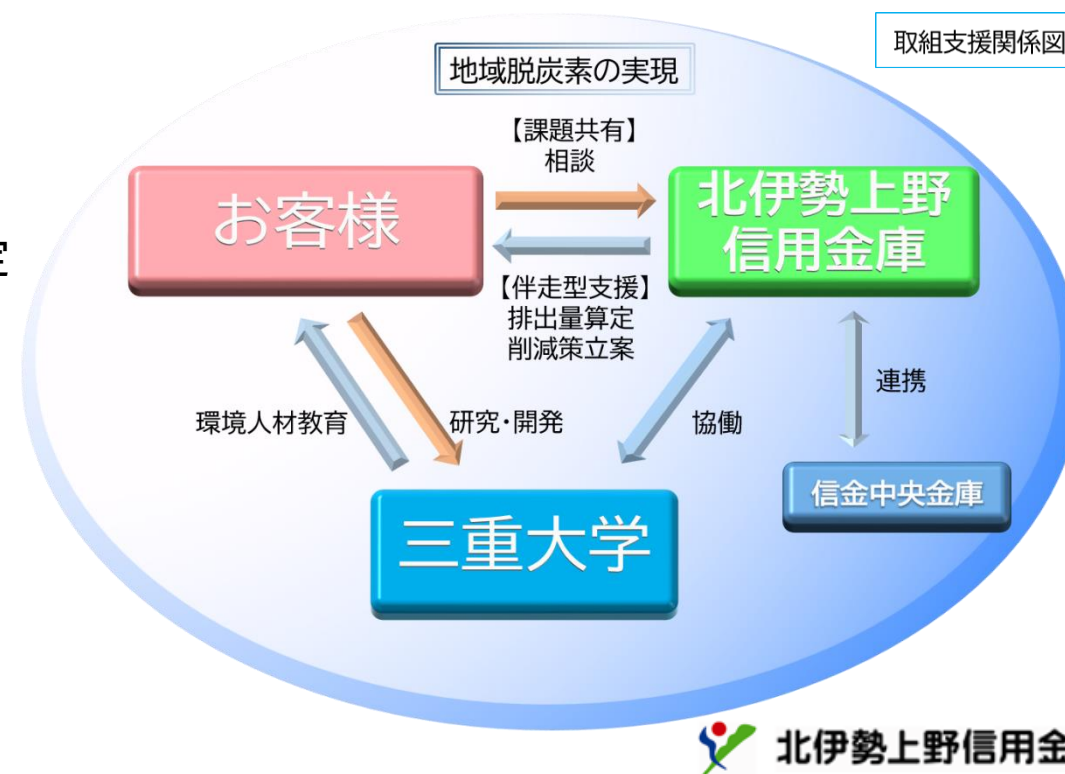
日本も2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロ、「カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」を宣言しており、大手企業だけでなくサプライチェーンを担う、中小企業にも脱炭素化の要請が求められてきておりますが、中小企業の皆さまの多くが情報面、知識面、人材面での制約により対策が取りにくいといった問題があります。

そこで当金庫は令和4年度より中小企業の皆さまの脱炭素化を支援することを目的とした「環境チーム」を発足いたしました。「環境チーム」は協働機関である三重大学協力のもと、企業全体のCO2排出量算定を行い「見える化」を行います。その後、算出データを基にお客様自身がCO2排出量を算出できる排出量算定システムを提供するなど脱炭素経営を進めるための総合的な支援を行います。当金庫は地域企業の皆さまの脱炭素化への取組みを支援することにより、脱炭素社会の実現に貢献します。

【具体的な取組施策】

- ・ 企業全体（サプライチェーン排出量含む）のCO2排出量の算定
- ・ 排出量簡易算定システムの提供
- ・ 算定マニュアル作成分析と対策提案
- ・ お取引先向け環境経営セミナーの提供
- ・ 専門家企業の紹介

目標数値（年間） CO2排出量算定企業数 **4** 件



3. 地域やお客様への積極的な情報開示

◇地域密着型金融の取組に関する情報発信

- ・当庫ホームページ、ディスクロージャー誌を通じて取組方針
目標・結果を公表していきます

◇地域や当金庫の利用者に対する積極的な情報発信

県内の信用金庫で構成する三重県信用金庫協会は、事業共同化の一環として「三重県しんきんレポート」を年4回発刊しております。誌面では、三重県の景況レポートや誌上ビジネスマッチングなどの他、公的支援策のご案内や地域情報を発信していきます。

◇地元商工会議所と連携した情報発信

地域のみなさまに、金融機関が持つ専門的な知識を発信するため地元商工会議所が開催する「まちゼミ」にて、講師として投資信託、確定拠出年金等の講座を開催してまいります。

金融機関の知識を発信することで、地域のみなさまのライフプランの作成をご支援してまいります。

